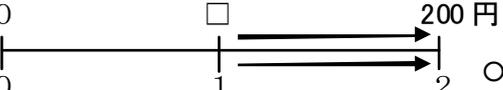
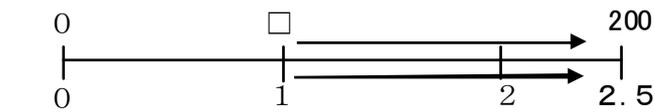


4. 指導計画 (全10時間 本時一次 2時)

次	ねらい	学習活動と思考の流れ	支援と評価 (子への手立て)
第一 次 (2)	①の1 ・数直線を使った□の式から、既習を活用して、かけ算の逆の演算としてわり算を立式し、わり算の意味をとらえなおす	○ これまでに勉強したわり算を確かめよう ・「8÷4」「400÷100」「3.6÷6」 「整数÷整数」「小数÷整数」 ○ □の中に暗算で求められる数を入れてみよう 『200÷□』 200÷2 200÷100 <この式を使った問題を数直線にしてみよう> リボンを2m買ったなら、代金は200円でした。 このリボン1mのねだんは何円ですか。 $\square \times 2 = 200$ $\square = 200 \div 2$  ○「計算のきまり」だ ・数直線で表すと、1mのねだんは200を2でわった「1つ分量」であることがわかり、答えを出す 数直線で表したら、かけ算がわり算に変身したよ。 わり算は、「1つ分量」という意味もあるのだね	・数直線からかけ算の式を出し、既習「計算のきまり」を使ってわり算へと導く ・数直線を対応させてわり算は、等分だけではない新しい意味のとらえ直しをさせる 数直線からわり算の立式が出来、わり算の意味を考えている (ノート・発言) 【数学的な考え方】 ☆□に100を当てはめて、先にわり算の式を考えさせる
本時	①の2 ・等分除における小数でわることの意味と、既習を活用して整数÷小数の計算のしかたを考える	○ 今日は「小数のわり算」の問題だったね リボンを2.5m買ったなら、代金は200円でした。 このリボン1mのねだんは何円ですか。 ○ 昨日のように1mあたりのねだんを求めるんだね ○ 数直線を書いて、わり算の式を立てることが出来たよ <200÷2.5の計算のしかたを、学んだことをイカして考えよう。>  ・それぞれの数を10倍して・0.1mの代金を求めて ・2.5は0.1が25こ分 ○ みんなの考えを聞き合おう 自分は誰と同じかな どの考えも、整数÷整数にして、80円になったよ。 前の勉強をイカしたら、いろいろな考え方で、小数のわり算ができたよ。イカした勉強は楽しいな	・200÷2の数直線と比較しながら立式に導く ・既習の小数のかけ算や計算のきまりでの考え方をイカしていく ・考えがしっかり伝わるような説明をさせる 既習の整数÷整数、小数÷整数などに関連づけて、整数÷小数の計算のしかたを考えている (プリント・発言) 【数学的な考え方】
第二 次 (5)	① ・小数÷小数の除法の計算と筆算のしかたを理解し、その計算ができる	○ 昨日のみんなの考え方をイカして勉強しよう 6.5mの重さが7.8kgの鉄の棒があります。 この棒1mの重さは何kgですか。 <7.8÷6.5の計算のしかたを考えよう。> $7.8 \div 6.5 = 1.2$ $\downarrow \times 10 \quad \downarrow \times 10$ [等しい] $78 \div 65 = 1.2$ ・「計算のきまり」で勉強したことを使えば、答えがでる	・前時考え方に出了、既習の除法の性質に帰着させることで、答えだけでなく計算の意味づけにつなげる ・「わられる数とわる数をどう変えたか」「商の小数点はどこになるか

		<p>○ この考えを使って、$7.8 \div 6.5$ の筆算のしかたを考えよう</p> $6.5 \overline{) 7.8} \longrightarrow 6.5 \overline{) 7.8}$ <p style="text-align: center;">$\times 10 \quad \times 10$</p> <p>○ 計算練習をしよう</p> <p style="text-align: center;">と考える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>わり算の「計算のきまり」を使って、答えを出すことが出来たよ。この考え方を使うと、筆算も 整数÷整数 と同じように計算できる</p> </div>	<p>な」と助言して手順を想起させる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>小数÷小数の除法の筆算のしかたを理解している (ノート・発言) 【知識・理解】</p> </div> <p>☆整数のわり算練習 計算のきまり復習</p>
<p>②</p> <p>・小数どうしの除法の筆算ができる (商が純小数や被除数に0を補う)</p>		<p><小数÷小数のいろいろな筆算のしかたを考えよう。></p> $\begin{array}{r} 0.8 \\ 3.5 \overline{) 2.80} \\ \underline{280} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.75 \\ 2.4 \overline{) 1.80} \\ \underline{168} \\ 120 \\ \underline{120} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} 3.2 \\ 2.5 \overline{) 8.0} \\ \underline{75} \\ 50 \\ \underline{50} \\ 0 \end{array}$ <p>[商が純小数] [100分の1の位] [被除数整数] までの純小数</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>0を付け加えたり、小数点の位置に気をつけて、いろいろな小数÷小数を筆算で解くことができたよ</p> </div>	<p>・「0と小数点」の重要性を理解させるために色分けをする</p> <p>・練習問題に取り組みせ正確な計算力をつける</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>小数どうしの除法筆算(商が純小数や被除数に0を補う)ができる (計算の理解正答率) 【表現・処理】</p> </div> <p>☆「GOGO問題」を想起させて割り進む</p>
<p>③</p> <p>・純小数でわると商は、被除数より大きくなっていることを理解する</p>		<p>○ 1mのねだんはどっちが高い</p> $1.2\text{mで}240\text{円} \longleftarrow \longrightarrow 0.8\text{mで}240\text{円}$ <p><1より小さい数も同じようにわり算できるのだろうか></p> <p>○ 答えを予想してみよう</p> <p>○ 数直線を使って式をたてよう</p> $\square \times 1.2 = 240 \quad \square \times 0.8 = 240$ $\square = 240 \div 1.2 \quad \square = 240 \div 0.8$ $= 200\text{円} \quad = 300\text{円}$ <p>○ 数直線で答えの見積りをしてから計算をしよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>小数のわり算では、1より小さい数でわると、答えはわられる数より大きくなるし、1より大きい数でわると小さくなる。わり算っておもしろいな</p> </div>	<p>・答えの見積もりを考えることで、今までのわり算の常識とは異なる答えが出ることを強調して理解につなげる</p> <p>・□を使った立式で、「わり算はかけ算の逆の演算である」という意識を持たせる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>純小数でわると商は、被除数よりも大きくなることを理解している (プリント・発言) 【知識・理解】</p> </div>
<p>④</p> <p>・小数の除法におけるあまりの位取りについて理解する</p>		<p>○ あまりのある計算にチャレンジしよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>2.5ℓのジュースを0.7ℓ入る水筒に入れていきます。何個がいっぱいになって、何ℓあまりますか。</p> </div> <p><あまりはどうすれば求められるのだろうか></p>	<p>・教師から2通りの計算の仕方を提示することで、小数点に目をつけたまちがいに気づかせる</p>

		$0.7 \overline{) 2.5}$ $\begin{array}{r} 3 \\ 0.7 \overline{) 2.5} \\ \underline{21} \\ 4 \end{array}$ $0.7 \overline{) 2.5}$ $\begin{array}{r} 3 \\ 0.7 \overline{) 2.5} \\ \underline{21} \\ 0.4 \end{array}$ <p>○ どちらの計算が正しいだろうか ○ あまりが、0.4 になるわけを考えよう ○ 10倍して計算しやすくする工夫をしたのだから、10倍したわられる数もわる数も本当の数ではない</p> <p>あまりの小数点は、わられる数もとの小数点にそろえてうつことがわかったよ</p>	<p>・あまりの4と0.4を水筒に入れる量として考えさせて、あまりとしての数値の問題性に気づかせる</p> <p>あまりのある場合の小数の除法計算ができる (ノート) 【表現・処理】</p> <p>☆整数にもどして計算をする</p>								
	<p>⑤</p> <p>・わり進む、いろいろな筆算の仕方を考えることができ、筆算の一般化ができる</p>	<p><3.6 ÷ 1.5をわりきれぬまで計算しよう></p> $1.5 \overline{) 3.60}$ $\begin{array}{r} 2.4 \\ 1.5 \overline{) 3.60} \\ \underline{30} \\ 60 \\ \underline{60} \\ 0 \end{array}$ <p>0をつけたすこと</p> <p>一の位で商が立たないときは「0」とかく</p> <p>わりきれぬまでの小数のわり算では、「小数点」と「0」をつけるのがポイントだよ</p>	<p>・「小数点」と「0」を意識させ、計算練習を通して会得させる</p> <p>わり進む場合の小数の除法計算ができる (ノート・観察) 【表現・処理】</p> <p>☆小数÷整数の筆算をふりかえる</p>								
<p>第三 次 (3)</p>	<p>①</p> <p>・比較量と基準量が小数のときも、何倍かは除法で求めることを理解する</p>	<p>○ AをもとにするとB、Cの量は、それぞれ何倍か <何倍かを求めるにはどんな計算をすればよいか></p> <table border="1" data-bbox="421 1216 660 1406"> <thead> <tr> <th>名</th> <th>牛乳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>1.6ℓ</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>2.4ℓ</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>1.2ℓ</td> </tr> </tbody> </table> <p>数直線を作って考えよう Aを1とすると… B…2.4 ÷ 1.6 = 1.6倍 C…1.2 ÷ 1.6 = 1.6倍</p> <p>小数のときも、ある大きさが、もとにする大きさの何倍にあたるかを求めるには、わり算を使います</p>	名	牛乳	A	1.6ℓ	B	2.4ℓ	C	1.2ℓ	<p>・□使った数直線から、逆算で÷を立式させる</p> <p>比較量と基準量が小数でも、何倍かは除法で求めることを理解している (ノート・観察) 【知識・理解】</p> <p>☆「くらさんととさん」の写真で小数倍の学習をふりかえる</p>
名	牛乳										
A	1.6ℓ										
B	2.4ℓ										
C	1.2ℓ										
	<p>②③</p> <p>・発展問題の文章題と計算に取組み理解する</p>	<p><「小数のわり算かけ算博士」になろう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけ算とわり算の混じった文章題プリントで、数直線を使いながら立式し答えを出す ・わり算の「おもしろ問題チャレンジ」に取り組む ・計算ドリルで、制限時間内での正答率を高める <p>わり算の意味がわかり、筆算が早く正確になって、小数のわり算かけ算博士になることができたよ</p>	<p>・発展グループの計算意欲を満たすために、タイムを計ったり、正答の数を高めるように工夫して取り組ませる</p> <p>基本的な学習内容を理解し、発展的内容についても理解に努めている (ノート・正答率) 【関心・意欲・態度】</p>								